

別記様式（第5条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回福津市地域密着型サービス部会 (介護保険運営協議会)	
開催日時	令和7年9月25日（木） 19：00～20：00	
開催場所	福津市役所別館1階 大ホール	
委員名	<p>出席委員</p> <p>松本 直人 部会長、 山城 崇裕 委員、 天野 幸治 委員、 大庭 祥子 委員、 横幕 理恵子 委員、 田島 勝彦 委員</p>	
所管課職員 職氏名	<p>高齢者サービス課 桑野課長 介護事業所指導係 林田係長、安倍、倉掛</p>	
会議	議題 (内容)	1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について 2. 福津市指定事業所の開設状況について 3. 福津市地域密着型サービス事業所の利用状況について 4. 令和7年度運営指導の実施計画について 5. その他
	公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1名
	資料の名称	<ul style="list-style-type: none"> ・次第 ・資料1 ・資料2－1 ・資料2－2 ・資料3 ・資料4 ・当日資料
会議録の作成方針		<p><input checked="" type="checkbox"/>要点記録</p> <p>記録内容の確認方法 部会長に確認</p>
その他の必要事項		

審議内容　（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

○結論等

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について
2. 福津市指定事業所の開設状況について
3. 福津市地域密着型サービス事業所の利用状況について
4. 令和7年度運営指導の実施計画について
5. その他

○経過

1. 課長挨拶
2. 部会長挨拶
3. 議題

○議題の経過

1. 福津市地域密着型サービス部会に関する所掌事務について

林田係長　：資料1について説明

松本部会長：こちらについて、何かご意見等ありませんか。
それでは、指定事業所の開設状況について、事務局よりお願ひいたします。

2. 福津市指定事業所の開設状況について

林田係長　：資料2－1説明。

昨年度と比べて特に変わりないです。

今年度、有効期間満了を迎える事業所5事業所。

後ほど改めて説明をしますが、2事業所更新手続きが完了しています。

林田係長　：資料2－2説明。

主任ケアマネ不在の事業所が2事業所。ハロは研修修了し解消される予定。ゆ一あいは一度管理者が入職されたものの退職されたため、現在、1年間の猶予期間の中で不在となっています。

居宅介護支援専門事業所も今年度の指定更新が多い。4件を予定している。
運営指導と併せて審査をすすめています。

松本部会長：こちらについて、他に何かご意見等ありませんか。

田島委員　：資料2－1について。残り3事業所の指定更新はどのようなスケジュールですか。

林田係長　：12月に順次案内を行い、指定更新に係る審査を行います。
3月の密着部会での報告に間に合うように事務を進めます。

松本部会長：主任ケアマネの定着は難しいところはあるだろうが、ゆ一あいが特定施設加算は取っていないことを確認しておいてください。人数の要件は合うが主任がないと加算算定不可でありますので。

松本部会長：8月の豪雨災害について、事業所からは特段に被害報告はないですか。

林田係長：ちからいいっぱい日蒔野が県に軽微な被害について報告をしたことは県から情報提供を受けていますが、市への報告はきていないです。先日の指定更新の現地確認の際にも特に何も報告はなかったです。他の事業所からも報告は受けておりません。

松本部会長：他に何かご意見等ありませんか。
ないようなので、次の資料について説明をお願いします。

3. 福津市地域密着型サービスの利用状況について

林田係長：資料3について説明。

松本部会長：こちらについて、何かご意見等ありませんか。
定巡について、令和6年6月は何か要因があるのでしょうか。

大庭委員：利用者が続けて死去されました。

松本部会長：軽度者の方も同様に、でしょうか？

大庭委員：そうです。

松本部会長：定巡の利用者の介護度が、軽度者が多いというのは全国平均的に見ると少し不思議。要介護1の方が中心ですね。中重度者が多いとなれば、医療機関ベース・併設型など要因は考えられるのだが、そうではなく軽度者が多いというのは、なにか要因はあるのでしょうか。軽度者のほうが、需要が多いですか？

大庭委員：入所を希望される方がすごく多くなっている印象です。支援者の目線で見ると、まだまだ在宅・地域でいけるのでは？と思われる方であっても、ケアマネさんが入所を進めている印象です。
特に今月は、大きな住宅型有料が立ち上がったため、入所が相次いでいるのは、安易に入所を進めている懸念があります。

松本部会長：そのあたりは地域全体へ市(行政)として啓発が必要かと思います。介護保険の趣旨としては在宅志向であるべき。しかしケアマネジャーの資質の問題でもありますのでケアマネの資質向上が必須だが、住宅型は多分に地域外の居住がつくことになる傾向にあるように思います。
住宅型が在宅ではないのかと言われると難しいところではあるが、囲い込みになります。また、まず住宅型だと介護保険サービスの入居ではなく在宅サービスを利用されるわけだから入居されたことの把握自体も難しく検証がしにくいいですよね。居宅の検証についてもそうだが、入居された方たちのその後が追いかけていく。介護度の変動など、メディアでも問題視されているが、非常に可視化が困難かと思います。

林田係長：サ高住の居宅については把握の方法はあるとは予測されますが、現段階では断言できないですので確認をします。

天野委員：昨今、小多機（小規模多機能型居宅介護）の利用者が激減し、このデータより現状は減っています。存続自体が厳しい現状です。

小多機利用のためにはケアマネを変えることが課題となり、新規のケースでないと利用につながらない現状がある。周知はしているがなかなか新規利用に結びつかないです。

先ほど話があったように、入所されるケースが多いことも要因のひとつだと思います。簡単に入れてしまう現状があるので懸念します。特養も含めて入所系も空いているのが現状です。小多機の利用者の確保は非常に困難です。宗像市の小多機施設、2事業所閉鎖しています。地域性もあるのでしょうか、厳しい現状が見えます。

松本部会長：過去には、居宅から小多機に利用者をつなぐと報酬となったことがありました
が、その報酬はなくなってしまいました。

なぜ小多機を選ぶべきなのかを、もっと地域に発信されていかないと難しいところがあると思います。

小多機に行くのか、定巡と複合して在宅サービスを利用しながら居宅をつけるのかは分かれるところはあるかと思うが、在宅で生活を続けられる選択できる
のです。徘徊などある方であっても小多機で関りを深くして在宅支援が続けら
れるケースがあります。

横幕委員：居宅から利用がつながることはほぼないと現場で感じています。

大庭委員：高齢者が減っているわけではないのに要因が見えにくいですね。

松本部会長：介護保険の利用者自体が減っているのであれば、それは自立支援・予防事業が
うまくいっていることとして評価できるのでしょうか、どうやらそうでもない
ということであれば、やはり施設に流れているのでしょうか。近隣市町村にも開
設されていれば、バラけて確保されてしまう実情でしょうね。
施設系は待機者が減っている。その要因のひとつも住宅型に利用者が流れてい
るからでしょう。

大庭委員：市内の住宅型施設の廃止が急に決まって、混乱が生じていますね。現入居者
が、囲い込みする住宅型に転居を余儀なくされ、デイサービスの選択ができな
くなつて困っているという話を耳にしました。

林田係長：その件については、市でも、利用者家族からの相談があったことで把握してい
ます。先日、県の運営指導の同行で、現地にて書類確認等を行いましたが、そ
の際には全く話は聞かれなかったです。その施設も地元の居宅が入つていなか
ったので話が外に出てこなかったのかもしれません。

松本部会長：住宅型で地域外の居宅だと、契約の時ですら担当居宅に会つたこともないとい
う話も耳にします。あり得ないことです。本当に、今後も小多機には存続して
もらわないといけないと感じています。密着部会として考えると地域の方への
啓発が必要と思います。

では、次の資料について説明をお願いします。

4. 令和7年度運営指導の実施計画について

林田係長：資料4について説明。

松本部会長：こちらについて、他に何かご意見等ありませんか。

計画通りに実施されているようですね。ないようなので、次の資料について説明をお願いします。

5. その他

林田係長：当日資料の説明。

密着事業所指定更新2事業所について説明。

1件目グループホームすまいるについて。

2件目デイサービスちからいっぽい日蒔野について。

田島委員：更新時の現地確認の際には前回指定時との比較をして、改善点等の確認はしているのですか。

林田係長：前回指定時の書類の確認はするが、比較しての現地確認は行わないです。指定更新は6年に1回ですが、比較ではなく現状の確認を行います。

松本部会長：基準を満たしているのかどうかのチェックとはなりますよね。ちからいっぽい日蒔野の相談室は狭いですね。トイレの方が広々している。地域の居宅ともよく連携をされ適正に運営されているとは思います。

林田係長：今年度も、ハローワークと共に介護・障害就職面談会を実施します。福津会場は、11月25日にふくとぴあで開催予定です。8事業所が参加されます。広報誌への掲載、チラシの配布で地域に広く広報します。未経験の方も歓迎しています。

松本部会長：転職エージェントが横行しています。NHKでも紹介をされていましたが。雇用側に紹介手数料がかかるのことを知らない人が多いです。

紹介額も高額であり雇用後1か月経過すれば返金もないため、無資格未経験の方を雇うには雇用する側としてもリスクが高いため雇用につながらないと思います。仕事がないわけではなく、アクセスの仕方の問題であり、ハローワークやこのような面談会であれば雇用につながることを知ってほしいです。

松本部会長：宗像市が資格取得の全額補助をしていますね。福津市もぜひ導入していただきたい。人材が流れますよ。介護事業だけの話ではないが、就職する人や働く人が増えるための環境を作ることは大事と考えます。50代の無資格未経験の方の紹介会社からの応募とても多いが、リスクがあるからなかなか雇われないとと思う。ハローワーク経由なら話は別ですが。資格補助があるとすごくいいです。現場を知らずに入つてこられることは、やはりとても大変です。

天野委員：紹介手数料は本当に破格です。正職員の資格ありの介護福祉士だと、100万円くらいするらしいです。入つて数カ月でやめることも。

松本部会長：紹介会社から無資格で入ってきて1年間雇つて資格を取らせた職員を、同じ紹介会社が引き抜いていったこともあった。

天野委員：サクラもいるのではと、思います。

松本部会長：雇用して1か月たつたら紹介手数料の返金もないで、1か月は絶対やめるな
と紹介会社から言われたという話も聞いたことがあります。

大庭委員：うちでは、今のところ紹介会社を使ったことはないです。社内で独自に紹介制
度を作っています。

松本部会長：その他、事務局からありますか。

林田係長：看多機の公募を今年度も行っています。説明会を7月に行いました。公募は1
2月いっぱいを予定しています。

松本部会長：他に質問等ありませんか。

大庭委員：以前、広報で密着サービスの特集をしてもらったとき、すごく反響がありました。
福津は在宅をやれる、というのをもっと地域に発信してほしいです。始め
から入所しか手段がないと思い込んでいるケースもあると思います。福津には
小多機も定巡もある。在宅でできることを今一度、周知を検討してください。

桑野課長・林田係長：特集を組めるように調整します。

松本部会長：他に質問はありませんか。なければ、本日の議事については終わります。

安倍：事務連絡。
本日は、長時間ありがとうございました。